

# 渋川市観光基本計画

群馬県渋川市

はじめに	1
基本理念	2
計画目標・期間	3
<b>第1章 基本方針</b>	<b>4</b>
(1) 「もてる」観光資源を発掘し磨く	5
(2) 「楽しみ」訪れる仕掛けをつくる	5
(3) 「誇れる」魅力を知らせる	5
(4) 「温かな」充分なおもてなしをする	6
(5) 「魅力的」で国際的な観光地とする	6
<b>第2章 基本施策と主要事業</b>	<b>7</b>
<b>1 基本施策</b>	<b>7</b>
(1) 「もてる」観光資源を発掘し磨くための施策の展開	8
(2) 「楽しみ」訪れる仕掛けをつくるための施策の展開	9
(3) 「誇れる」魅力を知らせるための施策の展開	10
(4) 「温かな」充分なおもてなしをするための施策の展開	11
(5) 「魅力的」で国際的な観光地とするための施策の展開	12
<b>2 主要事業</b>	<b>13～17</b>
<b>3 渋川市におけるこれまでの観光施策</b>	<b>18</b>
(1) 観光PR	18
(2) 地域の特色あるイベント	19～22
(3) 温泉施設の整備・維持管理	23～25
<b>第3章 基本計画の推進体制</b>	<b>26</b>
<b>1 市民や各種団体との協働による推進体制</b>	<b>26</b>
(1) 各主体の役割	27～28
(2) 県・周辺市町村とのパートナーシップ	28
(3) 観光情報の発信及び双方向型コミュニケーション	28
(4) 事業実施状況の公表	29

# はじめに

観光は、旅行業、宿泊業、輸送業、飲食業、土産品業など極めて裾野の広い産業です。日本の経済、人々の雇用のみならず、地域の活性化にも大きな影響を及ぼすことによって、市民生活にゆとりや豊かさを生み出します。

近年は、旅行の形態や観光ニーズが多様化し、観光地間の誘客競争が激しくなる一方、団塊世代を中心とする旅行需要の拡大や、中国、韓国、台湾など東アジアからの外国人観光客が増加しています。

政府は、観光施策の推進により、地域経済の活性化や国際相互理解の増進を図るため、平成20年10月には「観光庁」を設置し、様々な政策を推し進めています。

また、群馬県においても、「はばたけ群馬観光プラン」の観光振興計画を策定し、「観光立県ぐんま」を推進しています。

本市では、平成18年2月20日の市町村合併により、伊香保温泉をはじめとした豊富な温泉資源、恵まれた自然環境、農産物、さらには、名所・旧跡や祭り、伝統芸能、観光施設など、観光地としての多くの資源を有することとなり、これらの観光資源の有効的な活用の必要性が生じてきました。

これらの背景をもとに、市内各地域の観光資源を取り巻く現状と課題を踏まえつつ、本市の観光振興の指針を示し、体系的な施策の展開を図るため、「渋川市観光基本計画」を策定いたしました。

「渋川市観光基本計画」の策定においては、まず、平成18年度に、市職員によって組織された「観光政策プロジェクトチーム」により、あらゆる角度からの観光振興施策が提言され、次いで、平成19年度には、観光の専門家や関係団体の代表、公募による市民によって組織された「観光政策策定委員会」において、検討を重ねていただいた結果を基礎として本計画が作成されています。

本計画の策定を契機に、多くの観光客の方々に渋川市へ訪れていただけますよう、市民や関係機関の皆さまとともに一層の観光振興の推進に取り組んで参りますので、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

平成21年3月

渋川市長 木暮 治一

## 基本理念

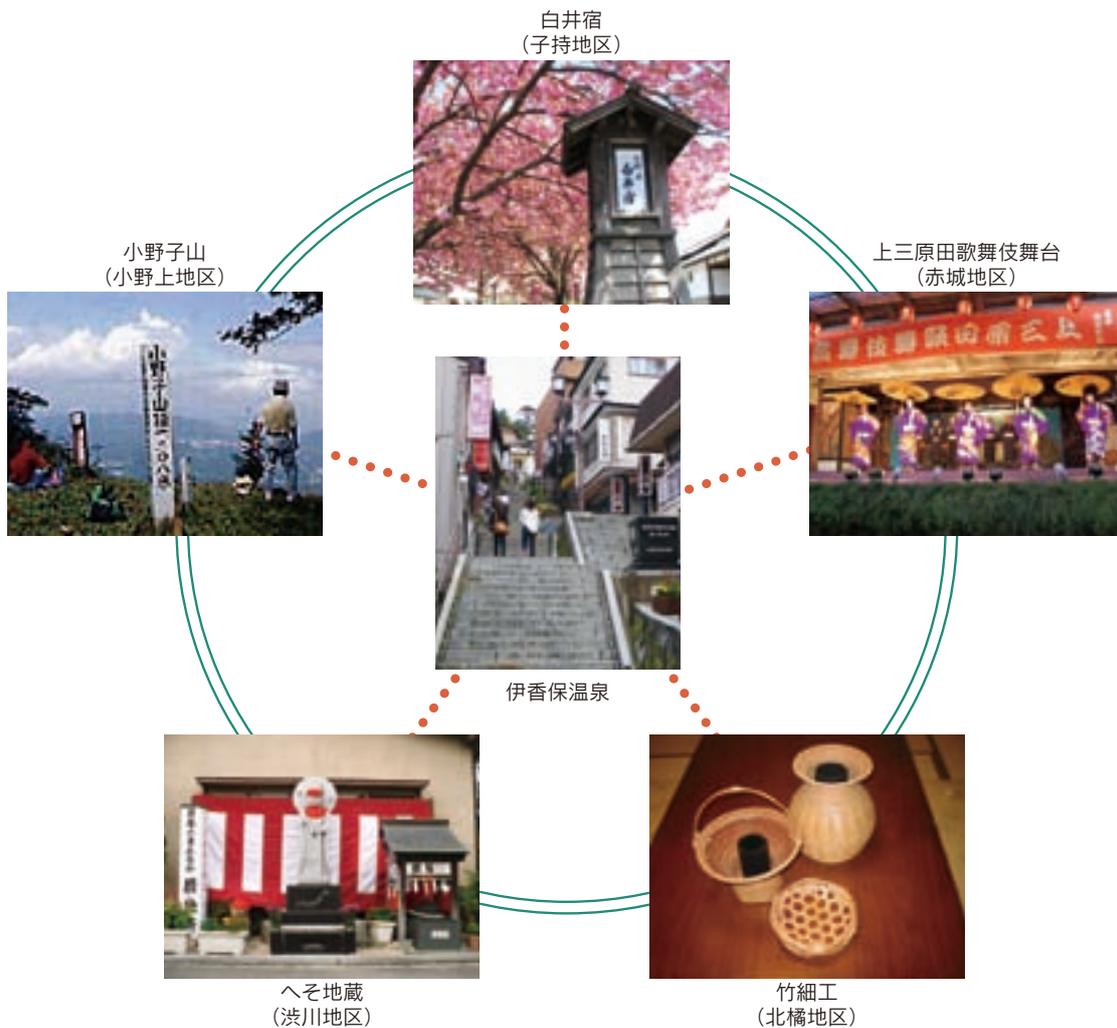
観光を取り巻く社会的動向や本市の観光特性を踏まえ、温泉観光地として全国的な知名度を誇る伊香保温泉を観光拠点として位置付け、景観に配慮した温泉街の整備や既存施設の利便性の向上により一層の活性化を図る必要があります。

また、観光拠点である伊香保温泉と市内の各地域を結び、点在する観光資源とのネットワーク化を図ることで、本市を訪れる観光客の周遊性が高められ、交流人口の増大や地域産業振興に繋がり、総合的な相乗効果が期待されます。

このことから、本市の観光基本理念を「伊香保温泉を拠点として、市域の観光資源のネットワーク化を推進する」とします。

この理念は、渋川市総合計画の重点プロジェクトの一つである「観光ネットワークの創出」と一致します。

### 【基本理念のイメージ】



## 計画目標・期間

本計画に基づく施策を着実に推進し、本市への年間観光客数を5年後の平成24年度には概ね500万人に、そのうち宿泊者数を130万人と定め、10年後の平成29年度には観光客数を概ね510万人、宿泊者数136万人とすることを目指します。

項目	現状値(平成18年度)	目標値(平成24年度)	目標値(平成29年度)
観光客数	485万人	500万人	510万人
宿泊者数	121万人	130万人	136万人

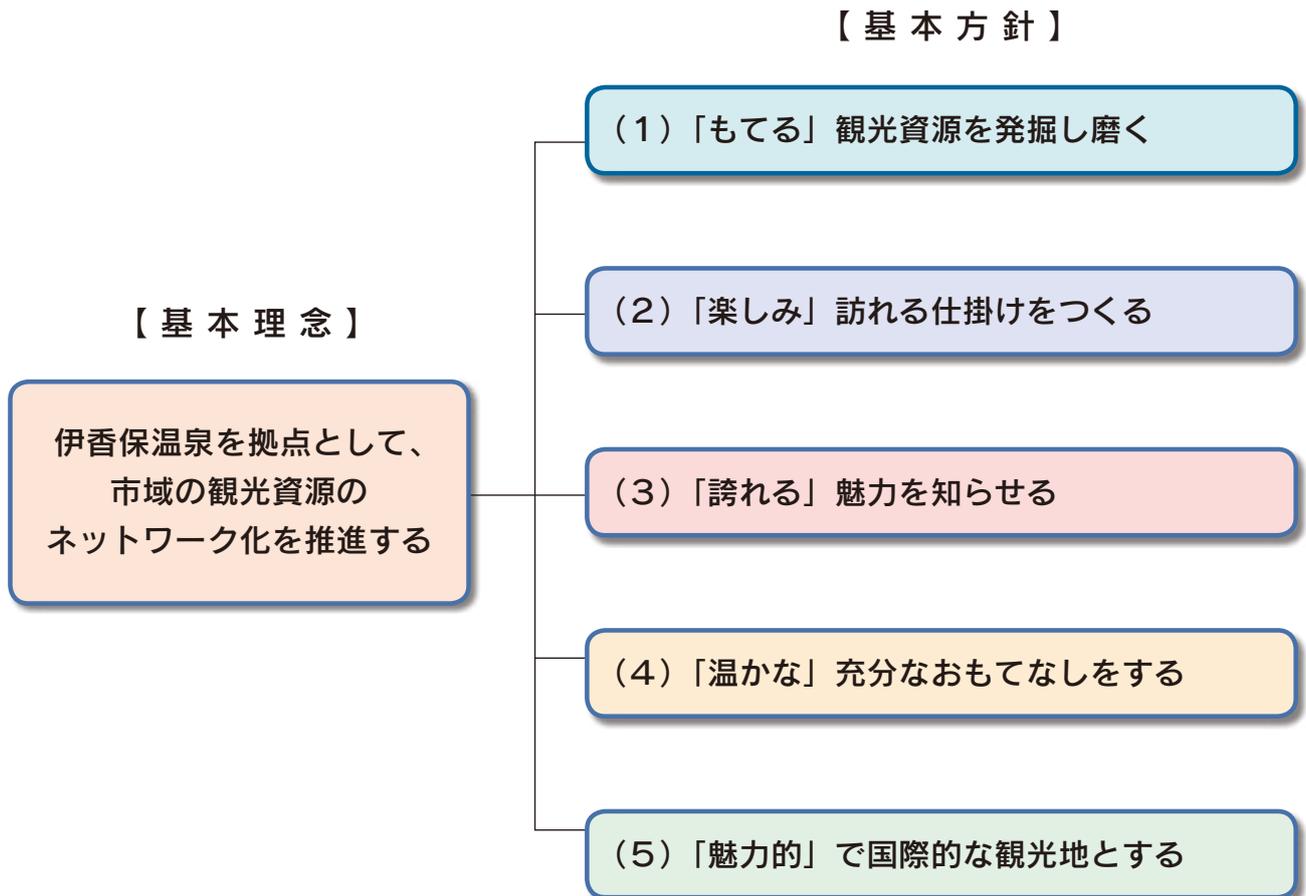
本計画の対象期間は総合計画の計画期間との整合性を図り、平成20年度を初年度とし、平成29年度を目標年度とする10年間とします。

なお、変動する社会情勢に柔軟に対応していくため、計画期間を、前期、後期5年間に分けて、進行管理を行います。



## 第1章 基本方針

基本理念の実現に向けて、5つの「基本方針」を推進します。



ホスピタリティ：心のこもったおもてなし。歓迎

### (1) 「もてる」観光資源を発掘し磨く

本市は、榛名山・赤城山・子持山・小野子山などの山並みに囲まれ、利根川と吾妻川が合流する里山景観、さらには四季折々を楽しめる自然資源に恵まれた地域であるとともに、史跡や神社仏閣さらには、祭りや歌舞伎、獅子舞、太々御神楽などの民俗芸能も多く残る文化的・歴史的資源にも恵まれた地域です。

また、農林業、商工業、観光業と、地域毎に特色のある産業が発展しているほか、日帰り温泉施設や農産物直売所が、市内全域に配置されているなど、産業資源にも恵まれた地域です。

これらの全ては観光資源に結びつくものであり、市内全域が観光地として成り立つ土壌を有しています。

市内に散在する観光資源を掘り起こし、磨き上げていくことで、本市独自のホスピタリティ<sup>\*</sup>を醸成し、魅力のある観光地を形成していきます。

### (2) 「楽しみ」訪れる仕掛けをつくる

魅力的な観光資源を埋もれさせないためには、そこに対して人が集まってくる仕組みや仕掛けづくりが必要です。

また、本市を訪れた観光客に「再び訪れてみたい」と思ってもらえるような動機付けの出来る素敵な思い出をつくることも大事な観光振興施策の一つと言えます。

市内で展開される各種イベントや地域産業の推進を通じて、観光客の満足度を高め、集客の促進を展開します。

### (3) 「誇れる」魅力を知らせる

観光客を増加させるには、魅力的な観光資源や整えられた集客の仕掛けづくりを広く伝えていくことが必要です。

観光客のニーズの多様化にともない、観光に対して様々な要素が求められるようになる中、本市への関心を高め、快適に市内観光が出来るようにするためには、観光客への的確な情報提供が不可欠となります。

近年、観光旅行時の情報収集手段を調査すると「旅行会社のパンフレット」、「ホームページ・ブログ」が圧倒的に多くなっています。

本市の魅力を知っていただくために、観光資源のネットワーク化を構築する中で、タイムリーな観光情報を収集・分析し、様々な情報手段をつかって周知・発信します。

#### (4) 「温かな」充分なおもてなしをする

本市の魅力が多くの人に伝わり、心から癒される観光地となるためには、市民をあげての充分なおもてなしを展開する必要があります。

従来からの施設や商品・サービスの充実といった観光関連のもてなしだけでなく、市内全域において、訪れた人の満足度を高め、何度も訪れたいと思われるような心のこもったおもてなしをすることが、一過性ではない集客へと繋がります。

このため、本市が観光地であることを市民が意識するような仕掛けづくりを図りながら、観光振興を推進します。

#### (5) 「魅力的」で国際的な観光地とする

県では、観光振興計画「はばたけ群馬観光プラン2008-2012」の策定を行い、2006年には約7万3千人であった外国人観光客を2012年は11万人に目標を設定し、各種の施策を展開しています。

本市は、外国人観光客に対する訴求力の高い観光資源に恵まれていることから、伊香保温泉のホテル・旅館との連携による国際的イベントやコンベンション<sup>\*</sup>などの誘致も可能です。

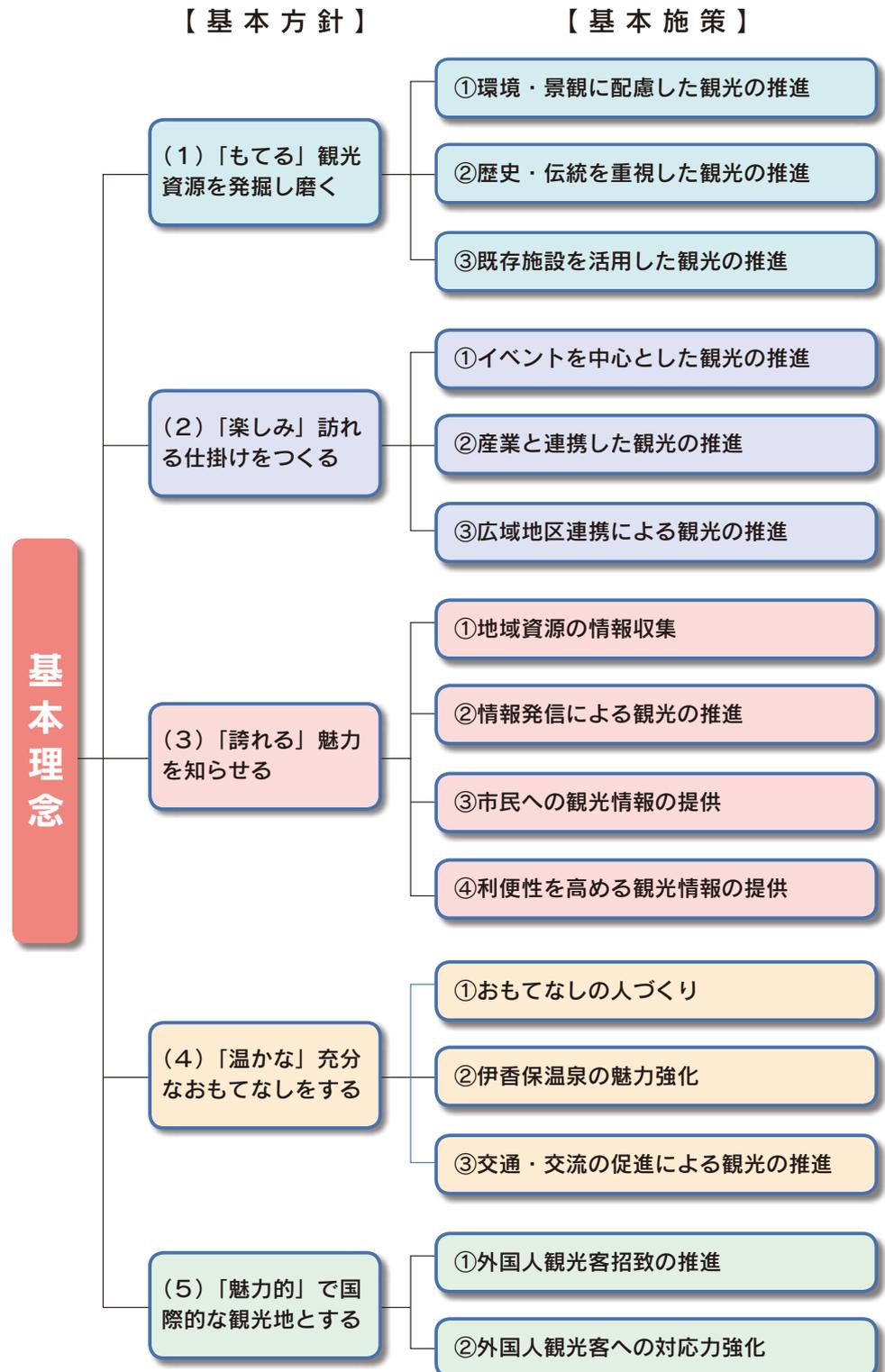
今後は、県と連携・協調した韓国、中国、台湾などへのインバウンド<sup>\*</sup>戦略や、県内市町村と連携した外国人旅行者向け広域観光ルートの構築を推進します。

コンベンション：大規模な催し。集会  
インバウンド：外国人旅行者を日本へ誘致すること

## 第2章 基本施策と主要事業

### 1 基本施策

基本方針の実現に向けて、15の「基本施策」を推進します。



## (1) 「もてる」観光資源を発掘し磨くための施策の展開

### ① 環境・景観に配慮した観光の推進

本市の観光振興を推進していくうえで、豊かな自然環境と景観に配慮しながら、森林・溪流・滝・花木・山野草などを観光資源として活用し、登山・ハイキング・ウォーキング・森林浴・釣り・花木鑑賞・ホテル鑑賞など、自然体験型ツーリズムやエコツーリズムを促進するとともに、市内写真コンテストなどの開催により、地域の魅力の再発見を推進します。

### ② 歴史・伝統を重視した観光の推進

本市には、国指定文化財の10カ所をはじめとして、県指定文化財や市指定文化財が数多く存在するとともに、伝統的な祭典や太々御神楽、また獅子舞や地芝居などの民俗芸能も多く残されています。

これらの有形・無形文化財や、地域の伝統的な行事を観光資源として掘り起こせるものについては積極的に活用し観光振興を推進します。

### ③ 既存施設を活用した観光の推進

本市は、温泉施設ばかりでなく、渋川スカイランドパーク・県立伊香保森林公園・沼尾川親水公園・愛宕山ふるさと公園などの公園施設や渋川総合公園体育館・野球場・渋川市民ゴルフ場などのスポーツ施設、さらには、渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館、徳富蘆花記念文学館、歴史資料館などの多様な文化施設を有しています。

また、本市は首都圏からのアクセスに優れており、施設の有効利用を図る中で、近年の健康志向ニーズにあった利活用や、学生及び社会人チームの合宿誘致などを積極的に促進することにより、新たな観光客の掘り起こしによる観光振興を推進します。

## (2) 「楽しみ」訪れる仕掛けをつくるための施策の展開

### ① イベントを中心とした観光の推進

本市で開催されている、渋川へそ祭りをはじめとした各種のイベント振興で見物や参加を通じた集客を図ることにより、地域の魅力向上に努めます。

今後のイベント振興は、より魅力を引き出すためのイベントの同時開催などの検討や、新たなイベント企画による仕掛けづくりを通じて、市民・観光客が一体となって楽しめる観光振興を推進します。

### ② 産業と連携した観光の推進

群馬県は古くから「ものづくり群馬」として栄え、本市でも国内外へ製品を供給している産業が多くあります。

本市では、栽培面積日本一を誇るこんにゃくをはじめ、稲作・そば・いちご・りんご・ブルーベリーなどの農業生産が盛んです。

このような地場産業と観光を連携させた産業観光の推進により、新たな観光客増加への仕掛けづくりが可能となります。

工場見学や農業体験など、受け入れ側との連携と支援の強化により、学習活動や就労体験の機会が増すばかりでなく、海外からの来訪者にも期待ができます。

また、特産品の開発・販売などを促進することにより、生産者の認知度の向上、生産者ブランドの浸透など、産業振興への貢献も可能となります。

その一環として「日本のまんなかしぶかわフルーツ酒特区」（平成20年7月認定）を活用した観光の推進を図っていきます。

### ③ 広域地区連携による観光の推進

県内の北毛地域は、温泉、自然環境をはじめとする多くの観光資源に恵まれています。草津温泉、草津白根、四万温泉、谷川岳、尾瀬、水上温泉郷といった有名な観光地の入り口にあたる本市は、集客力の大きい周辺の観光資源と有機的に連携することで、さらなる集客の促進に期待ができます。

北毛地域への登山やスキー、温泉保養などの観光客が増加をすれば、市内日帰り温泉施設の利用者や、農産物直売所の買い物客の増加など本市への影響も大きく、周辺地域と連携したPR効果は、相乗効果によりお互いの魅力を引き出すこととなります。

### (3) 「誇れる」魅力を知らせるための施策の展開

#### ① 地域資源の情報収集

本市において、地元には知られていない地域資源や、観光に充分活用する資源を、観光資源情報として収集するため、市や観光協会に寄せられた情報提供をデータベース化するとともに、ホームページやモニターバスツアーを通じての意見や要望を分析し、新たな観光振興におけるマーケティング調査や既存観光資源の改善策に活用します。

エージェント：代理業者、旅行者

#### ② 情報発信による観光の推進

観光協会を中心的な情報発信主体と位置づけ、観光資源の所在地や概要をはじめ、イベントの開催時期・内容、ボランティアガイドの連絡先など、市内の観光資源に関する情報を、観光協会で一元的に集約し、その情報を観光パンフレットやホームページ及びVTRやDVDなどの映像媒体を利用したPR素材などを活用し、観光客だけでなく、エージェント<sup>\*</sup>やマスコミなど、幅広い範囲にわたり情報提供をすることにより、本市の魅力を知らせる仕組みを整えます。

#### ③ 市民への観光情報の提供

本市は、平成18年2月20日に6市町村の合併により誕生したことから、市民一人ひとりが市域の魅力を十分に認識し、本市の特性や魅力を市民同士が共有して初めて、観光客を迎える「おもてなしの心」が醸成されます。

市広報紙やホームページまたは観光パンフレットを通じて、積極的に市民に観光情報を提供して行くとともに、しぶかわ彩発見モニターバスツアーや市役所第二庁舎の観光・産業交流コーナーにおいても市民のための観光情報の提供を推進します。

#### ④ 利便性を高める観光情報の提供

近年、利便性の高い携帯電話やカーナビゲーションの普及がめざましく、これらのモバイル機器を使い各種観光情報や地図情報をダウンロードして、目的地までのルート情報の表示を利用する来訪者が増加をしています。

このため、これらのモバイル機器に対応した情報提供システムを構築するとともに、観光パンフレットの広域配布やわかりやすい観光案内板の設置など、快適で利便性の高い情報提供による観光を推進します。

## (4) 「温かな」充分なおもてなしをするための施策の展開

まちの駅：地域住民や来訪者が自由に利用できる休憩場所や地域情報を提供する機能を備え、さらには地域内交流・地域間連携を促進する公共的空間

### ① おもてなしの人づくり

観光客からの評価が高く、多くの来訪者に何度でも訪れたいと思われる観光地は、おもてなしの心が住民全体に浸透しており、地元の人々の人情や温かさに触れることで、地域イメージの向上、リピーターの増加へと繋がっています。

そこで、宿泊施設や物販・飲食施設といった観光関連施設の従業員だけでなく、市民全体が観光客を温かく迎えるような意識を自然に持てるよう、「観光おもてなし講座」など市民向けの啓発活動を推進するとともに、イベントの企画・開催や、ボランティア参加など、市民が観光客と交流する機会の創出を目指します。

また、現在、市民グループによる観光ボランティアガイドや「まちの駅<sup>※</sup>」などの活動が盛んになりつつありますが、さらに、地域の特徴を活かして、活気あふれる市民参加型の観光づくりを促進するため、観光ガイドなどの人材育成を推進します。

### ② 伊香保温泉の魅力強化

伊香保温泉の更なる魅力を高めるため、国の交付金事業である「伊香保温泉再生事業」により、温泉情緒景観整備及び歩行者優先空間の整備を推進します。

また、ハード面だけでなくソフト面の対応として、伊香保温泉観光協会・伊香保温泉旅館協同組合・伊香保商工会・女将会などが連携する「伊香保温泉品質向上委員会」の組織を支援し、様々なおもてなしへの取り組みが行われ、魅力の強化が図れるよう推進します。

### ③ 交通・交流の促進による観光の推進

観光は接客による直接的なおもてなしが中心となりますが、目的地までのスムーズな移動や施設のバリアフリー化など、ハード面における間接的なおもてなしも重要な要素となります。

観光客が快適に市内観光が出来るよう、駐車場や観光案内板の整備をはじめ、各観光資源間のアクセス網整備や、公共交通機関・タクシー利用による市内観光の利便性の向上を推進します。

公共交通機関の利便性向上では、都心からの誘客対策として、JR「湘南新宿ライン」の渋川駅乗り入れ誘致や高速バス路線の拡充に向けて取り組んでいます。

## (5) 「魅力的」で国際的な観光地とするための施策の展開

### ① 外国人観光客招致の推進

外国人観光客の訪日動機調査では、居住地域による観光ニーズには大きな相違が見られます。

アジア諸国の旅行者の動機割合は、「温泉・リラックス」「ショッピング」などが高く、欧米諸国の旅行者の動機割合は、「伝統文化・歴史的施設の見学」、「日本人とその生活の見聞・体験」などが高くなっています。

群馬県は、経済成長著しいアジア諸国の中でも台湾・中国に的を絞って招致活動を展開していることから、本市も県と一体的な観光PRを行うとともに、伊香保温泉での各種スポーツ大会や合宿、学会、会議など、国際的イベントやコンベンションなどの積極的な誘致活動を通じて、本市の知名度向上とインバウンドの拡大を図ります。

また、本市はアメリカ合衆国1郡、イタリア共和国2都市、オーストラリア連邦共和国1都市の計1郡3都市と友好・姉妹都市協定を締結しており、教育、産業、観光の分野での交流を深めていることから、こうした交流の中で本市の観光PRに努めます。

### ② 外国人観光客への対応力強化

海外での有力市場である韓国、中国、台湾における本市の知名度の向上及び誘客拡大を図るため、本市の魅力素材PR紙を作成し、ソウル、北京、台北をはじめ、各国主要都市のエージェントやマスコミなどに配布するとともに、外国人にとって魅力的な観光ルートの設定やツアー開催を推し進めるため、海外エージェントやマスコミの招致に努め、外国人観光客の誘客活動を行います。

また、外国人観光客が安心して市内観光を楽しめるように、英語、イタリア語、中国語、韓国語版の観光パンフレットや観光案内板の多言語化の促進を図ります。

さらに、群馬県観光国際協会との連携により、外国語による観光ボランティアの育成や、宿泊・飲食施設などの外国語スタッフの育成など、外国人来訪者が快適な観光を楽しめるよう、受け入れ態勢の構築を推進します。

## 2 主要事業

### (1) 「もてる」観光資源を発掘し磨く

※ 実施の主体については、「市民・市民団体」「観光協会・関係団体など」「観光事業者・生産者など」「市」に分け、該当する主体に●印 関係のある主体に▲印  
 ※ 前期・後期の●印は、実施中もしくは実施予定 ○印は検討・研究事項

施策	主要事業名 事業概要	市民・市民団体	観光協会・関係団体など	観光事業者・生産者など	市	前期	後期
① 環境・景観に配慮した観光の推進	・首都圏自然歩道の維持管理				●	●	●
	首都圏自然歩道である「関東ふれあいの道」の安全性を確保するため、維持管理を行います。				●	●	●
	・登山道の環境整備				●	●	●
	案内板の整備、仮設トイレの設置、駐車場の整備など登山者が安心して利用できるための維持管理を行います。				●	●	●
	・メープルヴィレッジこもち及び赤城キャンプ場の施設管理				●	●	●
	自然とのふれあいを求めて訪れる観光客に、自然環境の良さや景観の素晴らしさを味わっていただけるよう施設管理を行います。				●	●	●
	・菜の花エコプロジェクトの拡大	▲	▲	▲	●	○	●
子持地区で始まったエコプロジェクトを拡大し、観光に応用できる事業展開を官民一体となって研究します。				●	○	●	
・写真コンテストの実施	▲	●	▲	▲	●	●	
渋川市観光協会の主催により、本市の魅力や観光資源を紹介する写真の募集及び活用を協働で行います。				▲	●	●	
② 歴史・伝統を重視した観光の推進	・子持白井宿八重ざくら祭りの実施	●	●	▲	●	●	●
	歴史的景観の残る白井宿で、4月の最終日曜日に武者行列、六斎市、彌酔の句会、山車の運行など様々な実施主体による祭りを盛り上げます。				●	●	●
	・渋川山車まつりの実施	●	▲	▲	▲	●	●
	渋川市街地の自治会を中心に組織される実行委員会による、江戸時代から続く格式ある伝統行事である祭りを援助します。				▲	●	●
	・伊香保まつりの実施	▲	●	▲	▲	●	●
	伊香保商工会が主体となり、石段街を神輿が練り歩きながら、多くの観光客を集める秋の祭典を支援します。				▲	●	●
	・たちばな古里まつりの実施	▲	●	▲	▲	●	●
地域の実行委員会により実施され、橘山の伝説にあやかっ祭や花火大会の運営を支援します。				▲	●	●	
・白井城址や黒井峯遺跡の復元	▲			●	○	○	
戦国時代に関東の覇権が争われた舞台として知られる白井城址や「日本のポンペイ」といわれる黒井峯遺跡の復元を推進します。				●	○	○	
③ 既存施設を活用した観光の推進	・観光協会による観光宣伝		●	▲	▲	●	●
	アルテナード施設をはじめ、市内全域を網羅した観光宣伝事業を展開し、誘客を図ります。				▲	●	●
	・赤城健康公園の維持管理				●	●	●
	日帰り温泉施設と健康公園を一体として維持管理し、高齢者の生きがい対策と誘客を図ります。				●	●	●
	・スカイテルメ渋川など日帰り温泉施設の維持管理				●	●	●
	泉質の異なった日帰り温泉施設を数多く保有していることから、これを利用した誘客を図り、快適性を高めるべく維持管理を行います。				●	●	●
	・交流促進センター及びたちばなの郷城山の維持管理				●	●	●
手軽な料金で利用でき、天然温泉を有する公共の宿としての利用性を高めるべく、維持管理を行います。				●	●	●	
・合宿や全国大会の誘致		▲	●	▲	○	●	
学生や社会人の合宿や全国大会などを誘致し、温泉付き宿泊施設などを利用した大規模な集客を、官民一体となって展開すべく推進します。				▲	○	●	

(2) 「楽しみ」訪れる仕掛けをつくる

※ 実施の主体については、「市民・市民団体」「観光協会・関係団体など」「観光事業者・生産者など」「市」に分け、該当する主体に●印 関係のある主体に▲印  
 ※ 前期・後期の●印は、実施中もしくは実施予定 ○印は検討・研究事項

施策	主要事業名	市民・市民団体	観光協会・関係団体など	観光事業者・生産者など	市	前期	後期
	事業概要						
① イベントを中心とした観光の推進	・伊香保温泉観光協会による観光宣伝 伊香保温泉観光協会への委託事業として、各種のイベントを開催し、全国各地より誘客を図ります。		●	▲	●	●	●
	・渋川へそ祭りの実施 日本のまんなかをキーワードに、実行委員会を中心とした市民祭として実施し、全国にPRすべく協働で支援します。	●	▲	▲	▲	●	●
	・全国レベルの大会誘致 本市に多くの観光客呼び込むべく、年代層を超え継続可能なイベントの立ち上げを推進します。	▲	▲	▲	●	○	○
	・駅伝やマラソン大会の開催 市内の運動施設などを利用して、駅伝やマラソン大会などを開催し、交流人口の増加を図ることで、観光への結びつきを推進します。	▲	●	▲	▲	○	○
	・「夢ニストーリーイ散策」イベントの実施 竹久夢二にちなんだオリジナル小説を読み進めながら、その舞台を読者に散策していただくイベントを開催します。			▲	▲	●	●
	・観光物産展の実施 民間企業との連携により、首都圏などで渋川地区の物産の展示販売を行い、物産振興を図ります。		●	▲	▲	●	●
	・ブランド化事業の推進 本市の農業生産物や工芸品などのブランド化を図り、地場産業と観光を連携させて、地産地消による産業観光を推進します。			▲	▲	●	○
② 産業と連携した観光の推進	・企業などとの連携による観光推進 工場見学や農業就労体験などを通じ、官民連携による産業観光の推進を展開します。		▲	▲	●	○	○
	・道の駅、農産物直売所運営支援の実施 地場産業の振興及び地産地消の促進のため、道の駅、農産物直売所の運営支援を行います。		▲	●	▲	●	●
	・日本のまんなか渋川フルーツ酒特区を活用した観光推進 特区の利点を生かし、意欲的な生産者によるフルーツ酒をPRし、本市の特産品や観光資源となるべく宣伝していきます。			▲	●	▲	●
	・伊香保温泉の宣伝活動推進 伊香保温泉をPRするため、「日本三大うどん」などの宣伝活動を促進します。		▲	●	▲	○	●
	・渋川・吾妻地域在来線活性化協議会との連携 在来線の活性化を図ることにより、鉄道利用による本市への誘客促進を推進します。		▲	▲	●	○	○
③ 広域地区連携による観光の推進	・県立天文台などを利用した観光コースの設定 伊香保温泉旅館共同組合青年部による、「蛸鑑賞会」や「榛名湖光のページェント」支援のほか、天文台と夜景をセットにしてPRします。		●	▲	▲	○	●
	・メディカルツーリズムの体制整備 群馬大学重粒子線医学研究センターで実施される重粒子線治療などのメディカルツーリズムの支援を推進します。		▲	▲	●	○	○

### (3) 「誇れる」魅力を知らせる

※ 実施の主体については、「市民・市民団体」「観光協会・関係団体など」「観光事業者・生産者など」「市」に分け、該当する主体に●印 関係のある主体に▲印  
 ※ 前期・後期の●印は、実施中もしくは実施予定 ○印は検討・研究事項

フィルムコミッション：映画などの撮影場所誘致や撮影支援をする組織

施策	主要事業名 事業概要	市民・市民団体	観光協会・関係団体など	観光事業者・生産者など	市	前期	後期	
①地域資源の情報収集	・観光行政推進連絡会議の開催							
	観光課及び各総合支所関係職員の情報交換会により、新たな観光資源の情報収集や、観光行政の推進に反映させます。				●	●	●	
	・モニターバスツアーの実施 渋川市観光協会が主催するバスツアーを通じて、市内の周遊性を高めるとともに、アンケートの実施により改善策の分析を図ります。	▲	●	▲	▲	●	●	
②情報発信による観光の推進	・伊香保ビジターセンターの維持管理 伊香保温泉の観光案内所として、伊香保温泉観光協会による維持管理を支援します。		●		▲	●	●	
	・観光宣伝による情報発信の推進 ラジオやテレビなどの公共電波宣伝をはじめ、インターネットによるホームページ開設など情報社会に対応する情報発信を推進します。		●		●	●	●	
	・観光大使の選定・活用 本市にゆかりのある各界著名人や県外などで活動する本市出身営業マンなどを観光大使として選定し、知名度アップの協力をしていただきます。		▲	▲	●	○	●	
	・田舎ん家の利用促進 農業後継者不足により空き家や耕作放棄地が増加傾向の中、団塊世代など首都圏居住者に空き農家の情報を提供し、交流人口の増加を図ります。	▲		▲	●	●	●	
	・観光案内所の整備 観光協会の運営による、JR渋川駅における観光案内所の設置及び維持管理を支援します。		●		●	○	○	
	・フィルムコミッション*などの宣伝媒体研究 本市が有する観光資源を映画やテレビを宣伝媒体として活かすための観光手法について研究します。		▲		●		○	
	③市民への観光情報の提供	・観光協会による市民への観光情報の提供 渋川市内の観光資源や特産品などを、市民に対し広く紹介し、市内全域が観光地であるということの意識啓発を行います。	▲	●	▲	●	●	●
	④利便性を高める観光情報の提供	・観光案内板の設置 市内の周遊性を高め、観光ネットワークを構築するため、観光案内板を計画的に設置し、観光客に対する情報提供をします。				●	●	●
・新たな情報提供システムの構築 携帯電話やカーナビゲーションシステムを利用した利便性の高い観光情報の提供を、官民協働で推進します。			▲	▲	●	○	○	

(4) 「温かな」充分なおもてなしをする

※ 実施の主体については、「市民・市民団体」「観光協会・関係団体など」「観光事業者・生産者など」「市」に分け、該当する主体に●印 関係のある主体に▲印  
 ※ 前期・後期の●印は、実施中もしくは実施予定 ○印は検討・研究事項

ラッピング：広告を印刷したフィルムを車両全体に貼り付けること

施策	主要事業名 事業概要	市民・市民団体	観光協会・関係団体など	観光事業者・生産者など	市	前期	後期
①おもてなしの人づくり	・温泉施設の管理運営 市内日帰り温泉施設の利用を通じて、市民と観光客が交流する機会を創造し、市民によるおもてなし意識を啓発します。				●	●	●
	・伊香保温泉まちの駅の維持管理 伊香保温泉観光協会が運営する「まちの駅」の維持管理及び観光案内や旅館案内業務を支援し、観光客への利便性を高めます。		●		▲	●	●
	・渋川広域ガイドの会連絡協議会 市内各地にあるボランティアガイドの会の連携を促進し、情報交換や技術の研鑽に協力します。	●	▲		▲	●	●
	・観光ボランティアの育成 それぞれの地域で活躍する観光ボランティアの全国大会を誘致し、地域の紹介と市内ボランティア団体の技術の研鑽を図ります。	▲	▲	▲	●	●	●
	・観光おもてなし講座の開催 市内に訪れる観光客を温かく迎え、おもてなしの精神で交流できるよう、観光施設関係者などを中心とした接遇講座を開催します。		▲	▲	●		○
	・観光アドバイザーの養成 市内観光ボランティアガイドの会を中心として、ガイド技術の研鑽及び観光アドバイザーの養成を支援します。	▲	▲		●		○
	・伊香保温泉観光施設の維持管理 ロープウェイ運行事業や市営駐車場維持管理など、観光客の利便性を高めるサービスを提供するための事業を運営します。				●	●	●
②伊香保温泉の魅力強化	・宿泊施設AEDの設置 伊香保温泉をはじめ市内全ての宿泊施設に、AEDを設置することにより、日本一安全安心な温泉地であることをPRし、観光客増加を目指します。			●	▲	●	
	・伊香保温泉の源泉維持管理 伊香保温泉の源泉安定供給と維持のため「黄金の湯」への助成と「白銀の湯」の管理を行います。		●		●	●	●
	・二次交通の充実 市内周遊における交通手段の利便性を向上させるため、官民協働による公共交通機関の整備を推進します。			▲	●	○	○
③交通・交流の促進による観光の推進	・駅からハイキングの企画 観光協会がJR東日本などと連携し、電車乗客によるハイキングツアーなどの企画により、鉄道利用者の増加を図ります。		●	▲	▲	○	●
	・湘南新宿ラインのJR渋川駅乗り入れ誘致 首都圏からの鉄道利便性の向上を図るため、湘南新宿ラインの誘致を、官民一体となって展開します。	▲	▲	▲	●	○	○
	・高速バスラッピング※によるPR 渋川市と首都圏を結ぶ高速バスに本市の観光情報をラッピングすることにより、動く観光看板としての観光宣伝を行います。		▲	▲	●	○	●

### (5) 「魅力的」で国際的な観光地とする

※ 実施の主体については、「市民・市民団体」「観光協会・関係団体など」「観光事業者・生産者など」「市」に分け、該当する主体に●印 関係のある主体に▲印  
 ※ 前期・後期の●印は、実施中もしくは実施予定 ○印は検討・研究事項

施策	主要事業名	市民・市民団体	観光協会・関係団体など	観光事業者・生産者など	市	前期	後期
	事業概要						
①外国人観光客招致の推進	・群馬県観光国際協会との連携						
	・群馬県観光国際協会と連携して、外国人観光客を招致するための誘客宣伝事業を実施します。		▲	▲	●	●	●
	・海外との交流						
②外国人観光客への対応強化	・本市の友好・姉妹都市との交流関係を活かした、外国人観光客の招致を推進します。		▲		●	○	○
	・外国語版パンフレットの活用						
	・市で作成した外国語版パンフレットを活用し、海外エージェントやマスコミ招致のための誘客宣伝活動の推進を図ります。		▲	▲	●	●	●
	・外国人観光客受け入れ研修会の開催	▲	▲	▲	●	○	●
	・外国人観光客を受け入れる態勢をつくるため、群馬県や群馬県観光国際協会、さらには渋川市国際交流協会との連携により外国語通訳スタッフの育成や、外国語による観光ボランティアの養成を図ります。						



渋川市観光協会のマスコットキャラクター「アルティ」

### 3 渋川市におけるこれまでの観光施策

平成18年の合併により豊富な観光資源を有することとなった本市では、これまでの観光施策において、観光パンフレットの作成や市内バスツアーの実施を通じて、観光情報の共有化による観光のまちづくりを目指した観光資源のPRを行うとともに、地域の特色を活かした祭りやイベントを官民協力のうえ開催しました。また、各地区にある温泉施設の整備及び維持管理を行いました。

#### (1) 観光PR

##### ❖ 観光パンフレットなどの作成、配布

作成した各種観光パンフレットなどを、本市の玄関口であるJR渋川駅構内の観光案内所、渋川市観光協会、伊香保温泉観光協会や観光施設で配布し、PRしています。

平成19年度には、5カ国語（中国語、韓国語、台湾語、英語、イタリア語）の外国語観光ガイドマップを作成しています。

##### ❖ 観光宣伝

各種メディアへの取材協力や首都圏への観光キャラバンのほか、伊香保温泉観光協会に委託して、伊香保温泉や市内の各種イベントをテレビ・ラジオなどの宣伝媒体を用いPRしています。

また、平成18年度に改編した市ホームページから市内観光地の状況をリアルタイムで発信しています。

##### ❖ アルテナードPR活動

アルテナードは日本シャンソン館から徳富蘆花記念文学館までの9kmを結ぶ県道の愛称です。「アルテ」はイタリア語で芸術、「ナード」は英語のプロムナード（散歩道）からナードをとり、組み合わせたもので、「芸術の散歩道」という意味です。この道路沿線に点在する観光施設が渋川市観光協会、本市と協働して共通チケットの作成・販売、スタンプラリー、PR活動などを行っています。

## (2) 地域の特色あるイベント

### ❖ 初市・暮市



かつての市街地では、毎月二と七の付く日には市がたち、遠方からも多くの人々が訪れました。

現在では、毎年1月12日に「初市」が、また12月27日には「暮市」が開催され、お正月用品や縁起物などの露天が並び、終日賑わう伝統行事です。

### ❖ 石段ひなまつり

伊香保温泉のシンボルである石段街の石段をひな壇と見立て、ひな人形として地元及び市内外の園児を募集し、毎年3月初旬の土、日曜日に開催されます。



### ❖ 白井宿八重ざくら祭り



江戸時代の面影を残す白井宿が満開の八重桜に染まる4月最終日曜日に武者行列・六斎市・彌酔の句会が同時開催、また、地元住民による山車の運行が行われる宿は、中央を流れる堰・箒の音・野点など風情豊かに終日賑わいます。

武者行列は国道17号鯉沢バイパス道の駅こもちに結集し、勝ちどきを挙げて勇壮に白井宿へ出陣します。

### ❖ 小野上温泉まつり

日頃の小野上温泉のご利用を感謝し、変わらぬ温泉の発展を願い開催されます。

湯くみ式や、郷土芸能が披露され、歌謡ショーやカラオケ大会なども開催されます。



## ❖ しぶかわ彩発見モニターバスツアー



渋川市へ初めて訪れた方には「彩」を、市内にお住まいの方や何度も訪れている方にも、渋川の魅力を「再」発見していただけるようにと日帰りバスツアーを実施しています。

コースは、渋川市の観光資源の特徴である四季折々の「食・花・体験・温泉」をテーマに、市内観光スポットを紹介しています。

## ❖ 小野池あじさい祭り



約8,000株のあじさいが植栽されている小野池あじさい公園では、毎年6月中旬から7月中旬まで「あじさいまつり」が開催され、期間中は公園内のライトアップにより、幻想的な雰囲気となります。

また、あじさいの管理講習会やあじさいに関する俳句や写真などの展示会も開催されます。

## ❖ 渋川へそ祭り

日本のまんやかに位置する渋川市ならではの、おへそをキーワードにしたユニークな祭りです。

メインイベントは、お腹に顔の絵を描き、練り歩くユーモラスな「へそ踊りパレード」で、街中は終日笑いとお歓声に包まれます。



## ❖ 伊香保ハワイアンフェスティバル



伊香保地区にある日本で唯一の、ハワイ独立王国時代の史跡“アルウィン公使別邸”を文化財としたことをきっかけに交流が始まり、以来文化交流の一環として伝統舞踊を紹介することを目的に始めました。

現在では、全国各地からの参加者で賑わう夏の風物詩となっています。

### ❖ たちばな古里まつり

北橋の地名の由来となった橋山にまつわる日本武尊（やまとたける）と弟橘姫（おとたちばなひめ）の伝説を後世に伝える古代行列が行われ、祭りのフィナーレには約5,000発の湖上花火が夏の夜空を彩ります。



### ❖ 渋川山車まつり

江戸後期から伝わる伝統的なお祭りで、豪華絢爛な山車の造形と装飾は、北関東一といわれています。

まつりの起源は、八幡宮・八坂神社の例祭に練り物を出したことに始まったと伝えられています。

### ❖ 伊香保まつり

伝統の樽みこしや本御輿が石段街を勇壮に練り歩く、伝統ある温泉街ならではの祭典です。

湯くみ行列、分湯式、湯まき式、子供樽みこしなど多数の催しが開催されます。



### ❖ 子持かえで祭り

爽やかな秋の日に収穫を感謝しながら、子持中学校隣接会場で人々の交流を楽しみます。

地元の農産物生産加工団体による子持地域特産のこんにゃく・子持茶・りんご・野菜・手づくり品などが販売され、農業・商工業活性化の交流の場として体育祭と同時に開催します。

### ❖ 赤城ふれあいまつり

赤城地区の農・商工業団体、文化団体が地域住民と連携し、「食の安全」・「健康で安全な地域づくり」・「文化活動」の推進を目的に、毎年11月初めに赤城スポーツセンターをメイン会場にして開催しています。

特に地元産の農畜産物を使用した試食・販売コーナーは大好評です。



### ❖ やすらぎとふれあいに満ちた“ほっと”なまちフェスティバル

「しぶかわ農業フェア」、「市消費生活展」、「市工業技術振興展」を合同開催するフェスティバルのなかで、賑わい創出のために渋川市観光協会では、足湯や観光キャンペーンの催しを実施しています。



### ❖ 行幸田そばまつり

行幸田地域営農推進協議会が、地域農業の活性化と、かつて地域の特産であった「豊秋そば」の復活を視野に、そばの花の咲く時期に行っています。

小さな白い花が一面に咲く中、手打ちそばの試食やそば粉の販売を行い、地元のそばのPRに努めています。



### (3) 温泉施設の整備・維持管理

#### ❖ 伊香保温泉再生事業

同事業は、国の補助事業である「まちづくり交付金事業」と県の補助事業である「千客万来支援事業」、「まちうち再生総合支援事業」を受けて事業総額20億円を投じて平成16年度から平成20年度を最終年度として推進しています。

平成16年に発覚した温泉偽装問題から既存の「黄金の湯」に、新たに確保した「白銀の湯」を配湯供給する事業、まちを歩きやすくする道路整備事業、まちを分かりやすくするサイン整備事業、まちを利用しやすくするトイレなど整備事業、まちへ訪れやすくする交通体系整備、人材育成、イベント、情報発信、展望台整備事業などを実施しています。

平成21年度からも引き続き、平成25年度を最終年度としたⅡ期計画を予定しています。

#### ❖ 石段の湯管理運営

伊香保温泉の石段街にある日帰り温泉施設で黄金の湯を楽しむことができます。

泉質は、硫酸塩泉で鉄分が多く空気に触れると酸化し、茶褐色となります。

内湯と休憩室のみですが、天下の名湯を充分堪能できます。



#### ❖ スカイテルメ渋川管理運営

地上15mの大展望露天風呂と水圧や気泡を使って健康を増進するプールがあります。

泉質は、ナトリウム・カルシウム・塩化物温泉で、人々が集まる、新しい健康づくりと交流の場です。

平成18年2月20日から指定管理者制度を導入しています。



## ❖ 小野上温泉センター管理運営



吾妻川に面した日帰り温泉施設で内湯、大露天風呂、広々とした休憩室を備えております。

泉質は、ナトリウム塩化物温泉で軟らかな肌触りのお湯が“美人の湯”として有名です。

リニューアルオープンした平成20年10月1日から指定管理者制度を導入しています。

## ❖ SUNおのがみ管理運営

山と緑と清流に囲まれ、軟らかな肌触りのお湯が“美人の湯”として有名な小野上温泉を源泉から引湯した宿です。

宿泊定員は、94人で和室12室、洋室12室。大宴会場、展望大浴場を備えた市民の集まる憩いの場です。



## ❖ 白井温泉こもちの湯管理運営



露天風呂も備えた静かな掛け流し温泉です。

泉質は弱アルカリ性低張性温泉で、国道17号鯉沢バイパス道の駅こもち西高台の風光明媚なふれあい公園の一角にあり、すぐ近くにかわづ桜の丘白井、中世に築かれた白井城址、八重桜の美しい白井宿があります。

## ❖ ユートピア赤城管理運営

清流利根川沿いの風光明媚な景観の中、見晴らしの良い露天風呂と広い内湯、本格的なプール・フィットネスルームを備えた温泉と健康づくりが楽しめます。

平成18年7月1日から指定管理者制度を導入しています。



❖ 赤城の湯ふれあいの家管理運営



源泉は敷島温泉で、ユートピア赤城に併設されています。

泉質は、弱アルカリ性低張性高温泉で内湯・露天風呂と休憩室のみの施設です。

平成18年7月1日から指定管理者制度を導入しています。

❖ 北橋温泉ばんどうの湯管理運営

利根川を眼下に臨む戦国時代の箱田城址隣に建てられた日帰り温泉施設です。

泉質は、ナトリウム・カルシウム塩化物温泉で、サウナ付きの内湯、打たせ湯付きの露天風呂があります。

平成19年4月1日から指定管理者制度を導入しています。



❖ たちばなの郷城山管理運営



戦国時代の箱田城址に建てられ、北橋温泉ばんどうの湯を引湯した温泉宿で、17室、70人を収容できます。

浴室は利根川に臨み、温泉と本格的な日本料理が楽しめます。

## 第3章 基本計画の推進体制

### 1 市民や各種団体との協働による推進体制

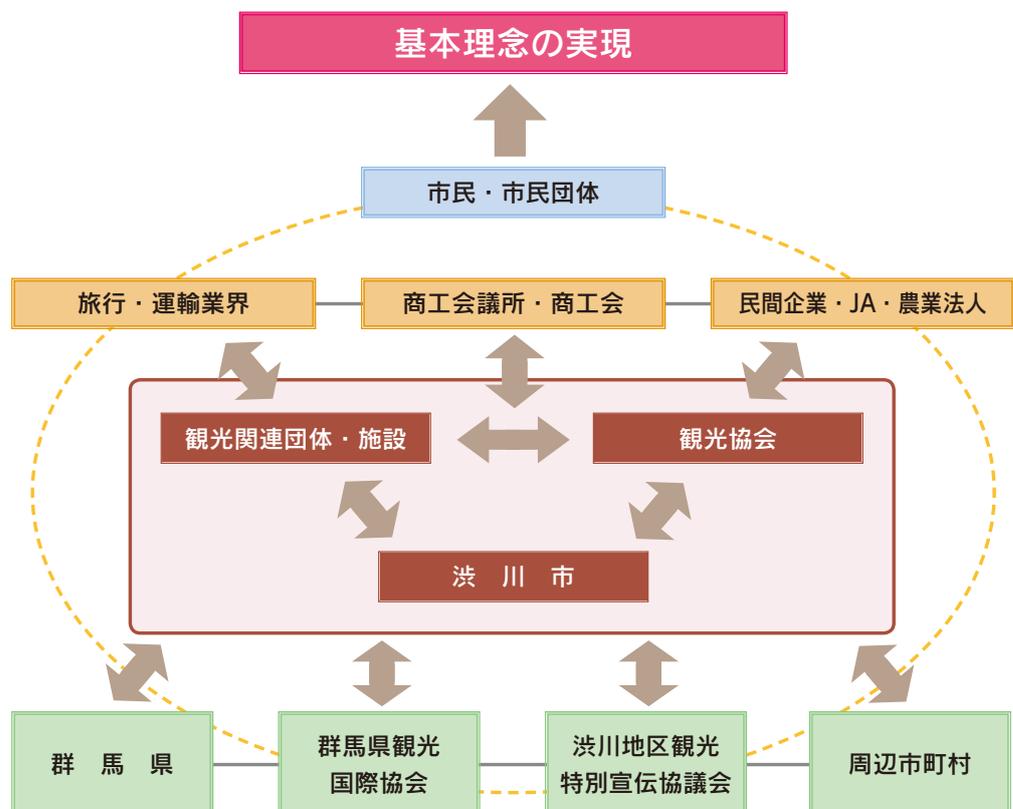
基本計画の推進にあたっては、基本方針に基づく、各施策の主要事業を中心に進めるなかで、官民一体となった取り組みが重要となります。

市内では、NPO法人や多くの市民団体が、それぞれの専門性を活かしながら活動しています。また、旅館の若女将、観光ボランティアガイド、農業生産者などの各種団体やコミュニティ組織も様々な分野で活発に活動しております。

観光における主体的な役割を担う観光協会や観光関連団体・施設などは、これらの市民や各種団体との連携や協働により、本市の観光目標の共有化と役割分担の明確化によって、持続性のある、地域に根付いた観光の実現を目指します。

また、市は県や周辺市町村との連携を強化するなかで、市民や各種団体とともに観光振興の推進を図ります。

【渋川市観光基本計画を実行していくための推進体制】



## (1) 各主体の役割

各主体は、次のような活動を通して、他の主体と連携をとりながら、観光基本計画の推進を図ります。

市としては、観光協会及び観光関連団体・施設とともに主体的な取り組みを進めるなかで、市民、各種団体、民間企業などと協働して、観光基本計画の実現に向け、地域の観光振興に関わる人材の育成や観光情報の収集と分析に努め、広範なPR活動により、渋川市の魅力を広く発信及び提供します。

また、市の関係部署との連携を一層強化するとともに、国・県・周辺市町村と協力して観光施策の調整や推進を図ります。

### ① 市民・市民団体

一人ひとりが地域の自然や歴史・文化などに対する知識と誇りを共有して、観光客を温かく迎え、交流を深めましょう。

また、イベントや地域の活動に積極的に参加するなど、魅力あるまちづくりに寄与しましょう。

### ② 観光協会

渋川市観光協会と伊香保温泉観光協会の早急な統合により、計画推進における主導的役割を担う組織として、市、観光関連団体・施設との一体的な協働体制を築き、市民や各種団体との連携を図りつつ、観光PRの遂行やイベントの開催、市内観光情報の提供などに努めます。

### ③ 観光関連団体・施設

観光客と直接的に関わる機会が多いことから、おもてなしの心をもった従業員の接遇やサービスの向上に主体的に取り組んでいただくとともに、市、観光協会と連携した活動への協力を求めます。

### ④ 商工会議所・商工会

会員相互の連携を図り、観光資源と成り得る、飲食物や物産の開発及び販売、イベントの開催、商店街の活性化、会員の接遇研修などにより、民間企業や各種団体と観光関連団体とを結びつける主体的な役割を担っていただきます。

### ⑤ 旅行業界・運輸業界

市内観光商品の開発と販売促進を通して、市内への集客を図るとともに、JRの各駅や観光拠点である伊香保温泉から、市内各地への周遊性を高めるための交通アクセスの利便性向上を目指します。

#### ⑥ 民間企業・J A・農業法人

観光関連事業への積極的な支援及び連携を通じて、観光による産業の活性化と社会貢献活動推進への協力を求めます。

### (2) 県・周辺市町村とのパートナーシップ

本市の観光振興における効果的なプロモーションと、国内外からの集客を積極的に誘導するため、相乗効果が期待できる県及び周辺市町村とのパートナーシップを積極的に促進するとともに、協働によるパンフレットの作成や観光キャンペーンの開催により、効率的な観光振興施策を展開します。

#### ① 群馬県観光国際協会とのパートナーシップ

群馬県観光国際協会は、群馬県と協調した観光振興を推進し、県内外のみならず国外に向けての誘客宣伝やPR活動を総合的に展開しています。

本市としても積極的に連携を図り、国内及び外国人観光客の直接的な誘客に繋げるべく、受入体制の整備や魅力ある観光地づくりなどを目指した活動を展開するとともに、当会が主催する県外での観光キャンペーンや各種イベントに参加するなかで、本市の魅力をPRします。

#### ② 渋川地区観光特別宣伝協議会とのパートナーシップ

渋川地区観光特別宣伝協議会は、渋川市、吉岡町、榛東村とその区域内の観光関連団体・施設などで構成されており、渋川広域圏における観光資源のネットワーク化と情報の共有化を目的に活動しています。

本市としては、本会の活動を通じて、首都圏を中心とした観光キャンペーンや観光ガイドマップの配布、また、マスコミへの取材招致など、本市に密着した観光PRを実施します。

### (3) 観光情報の発信及び双方向型コミュニケーション

観光PRや観光情報に関して、一方的な情報発信にとどまらず、観光客からの問い合わせや要望などに応えられるよう、インターネットを介して相手と直接やり取りする双方向型のコミュニケーションシステムを構築することにより、観光客との密接なコミュニケーションの促進が図られ、良好な関係を構築できるばかりでなく、観光ニーズを把握して“おもてなし”に反映させるなど、渋川のファンを創造し、リピーターの増加を目指します。

#### (4) 事業実施状況の公表

観光基本計画の推進にあたり、実施結果や取り組み状況を、市ホームページや広報誌、またマスコミへの情報提供などで広く公表することにより、各施策の見直しや新たな観光ニーズの把握に役立てます。

## 渋川市観光基本計画

---

発行日 平成21年3月

発行 渋川市

編集 経済部 観光課

〒377-8501 群馬県渋川市石原80

☎ 0279 (22) 2111(代)